

R5-06 ON Line 会議を再考

これまでオンライン会議と言うと ZOOM を利用して3年にわたり継続してまいりましたのでその仕組みや目的について十分ご理解を頂いていると思いますが、オンライン会議のソフトを初め運営についても進化しております。また参加するだけでなく皆さんがホストとして会議を運営するための実務についてさらに進展する必要があることを念頭に一段踏み込んだ理解を頂くための検討を試みたいと考えます。

1 これまで経験の On Line 会議

PC 同好会では ZOOM を利用した On Line 会議を利用してありますが、システムの利用には月額 2,000 円の有料版を使用しております。(実際の支払いでは長期利用の割引が適用されております) 無料版もありますが、持続時間の制限があるなどの不都合から完全無料の Skype を本年 3 月にテスト利用をしており、比較検討の結果は次の通りです。

- ① ZOOM：無料版は全ての会合（1 対 1 から）で時間制限が 40 分と短く開始前の準備時間を除くと 30 分程度で一旦退室して入りなおす必要があり会議進行は非常に不便になります。
- ② Skype：時間制限がなく ZOOM と比べると煩雑さはありませんが、サイトの容量不足と思われるが、参加人数が多くなると接続が不安定でモニタに表示する参加者の画像が乱れたり表示できないという現象が出て参加者の推奨人数は 8~10 名となります。無料で世界中の方と話せる Skype ですが、個人で活用される方も多くサイバー攻撃的にされやすいといったデメリットがありますので利用には注意が必要です。

これ等から無料版の使用はどうか、有料版の使用をどう考えるかについての検討が課題です。

2 On Line 会議のための要素

これまでの経験から On Line 会議を実施するために特に望まれるのは下記の事項が挙げられます。

- ① 無料または低価格で 2 時間程度利用できる
- ② 参加人数が 15~25 名を PC 画面に表示できる
- ③ 画面共有（ホストまたはゲスト任意の人が全員に資料を即時提供する）が可能
- ④ 会議の事前告知が可能（会議室のサイトを事前予約できること）

データが少々古いですがきれいに纏められていて見やすさが最高です。

	Messenger (Rooms)	Skype (Meet Now)	Zoom	Webex Meetings	Google Meet	Microsoft Teams	Microsoft Teams
最大参加可能人数	50人	50人	100人	100人	100人	300人	300人
ゲストのログイン	不要	不要	不要	不要	要*	要*	要*
ブラウザのみで参加	○	○	○	○	○ ^{※1}	○	○
URLの事前発行	○	○	○	○	○	○	○
カレンダー連携 ^{※2}	×	×	Outlook/Google	Outlook/Google	Outlook/Google	Outlook/Google	Outlook/Google
チャット	×	○	○	○	○	○	○
挙手/リアクション	×	○	○	○	×	○	○
画面共有	○	○	○	○	○	○	○
ホワイトボード	×	×	○	○	×	○	○
投票	×	○	×	○	×	○	○
録音・録画	×	○	○	○	×	×	×
仮想背景/背景ぼかし	×	○	○	×	×	○	○
PCでの最大画面表示数	25人	9人	25人	25人	16人 ^{※2}	9人	9人
スマホでの最大画面表示数	8人	4人	4人	2人 ^{※4}	5人	4人	4人
その他、無料版の制限	なし	なし	3人以上参加時、40分の利用制限	50分の利用制限	60分の利用制限 ※5	ストレージ容量 など	ストレージ容量 など

● 2020年6月30日時点の情報。OSによって機能や仕様に制限が出る場合がある。★ 有料版で利用可能。※1 ブラウザーで全機能利用可能。

※2 一部、拡張機能で追加可能。※3 メッセージャー自体では利用可能。※4 iPhoneでは4人。※5 9月末までは制限なし。

<https://www.businessinsider.jp/>の HP から転載（2020.7 現在）

3 無償でシステムを活用するための要件

On Line で会議をすると言うにはそれなりに必須の要件がありますが、先にリストした代表的システムの多くは無料版の使用は下記の通り 1 回の接続時間制限しております。

ZOOM	: 参加人数関係なく 40 分
Google	: 参加人数関係なく 60 分
Microsoft	: 参加人数関係なく 60 分
Webex	: 参加人数関係なく 50 分

このため 2 時間の会議が必用なら 40 分ごとに途切れる Web に再接続する必要があり、この不便さは会議進行にも障害を生ずるとみられます。

このため無償での利用は Skype に限られそうです。(ただし 10 人以下の利用がベター)

そのようななか普段利用している人も多いスマホの LINE を PC でも同じように利用できることがわかりました。(詳細は下記サイトをご確認ください)

PC 版 Line <https://guide.line.me/ja/services/pc-line.html>

<https://www.bizclip.ntt-west.co.jp/articles/bcl00145-013.html>

4 PC で LINE ミーティング

PC を使用した LINE でのオンライン会議は ZOOM などと同じくホストは PC 用アプリでの登録が必要ですが、ゲストは特にアプリの導入の必要がなくホストから連絡を受けた URL をクリックするだけで会議に参加できるので使用に関して不安は無いと思います。

(詳しい説明は次のサイトから確認できます <https://appllio.com/line/how-to-line>)

これらのサイトから Line PC 版でのグループ会議は参加人数の最大は 500 人、PC モニタでの 1 画面表示が 16 人で ZOOM とほぼ同じ内容の会議が可能のようでこれから検討したいと考えます。LINE は無料ソフトでありテキストのほか電話、ビデオ通話が可能です。通信システムはインターネットを使用するためソフトでの料金は不要ですが、通信回線料は必要になります。その費用については net で調べたところ通信量は下記の通りです。

1 分	5.1MB
10 分	51MB
1 時間	307MB

映像の通信(テレビ会議ももちろん含まれます)はデータ通信量を多く使用するので、1GB で 3.25 時間通話することができます。

しかし家庭内 Wi-Fi を使用する環境なら無料なので利用価値は大きいと考えられます。ただ完全無料と言うことで LINE 株式会社はトラブルに対して責任を負わないと言うことであり、危険を指摘する人もおります。(考えられる危険とは接続不安定や切断、ID やアドレス漏洩、対象外の人の侵入などが考えられます)

4 PC 版 LINE の導入と操作

① アプリの導入

Web 会議をするとき主催者はアプリからのセットが必用ながらゲストは Web サイトに接続するだけなのでアプリの導入は不要であると先にも述べましたが、皆さんは誰でもホストを

担当することを求められることから PC 用 Line の導入が求められると考えます。

LINE はスマホでの利用が一般的ですが PC での利用も可能です。ただしアプリはスマホのものと異なりますので正しいアプリをインストールする必要があります。

LINE の公式サイトから Windows 用のアプリをインストールします。

<https://line.me/ja/>

Mac 用、Chrome 用、Windows 用と 3 個ある



これを選択



ログインするにはスマホとリンクして本人確認が必要になるので手元に準備します。

② 初期画面



インストールが完了した PC には左のアイコン **A** が出来ますのでこれを起動するとログインに入ります (**B**)



新規登録を含めログインは本人確認にスマホと同期して本人確認のコード (数字 6 桁) 入力を求められこれが終了するとメニュー初期画面 (**C**) が現れる。



左端のメニューバーは見え難いので脇に拡大しており、上から友だち、トーク、友だち追加、LINE VOOM、オープンチャット、サービス、ミーティング、設定 となっている。

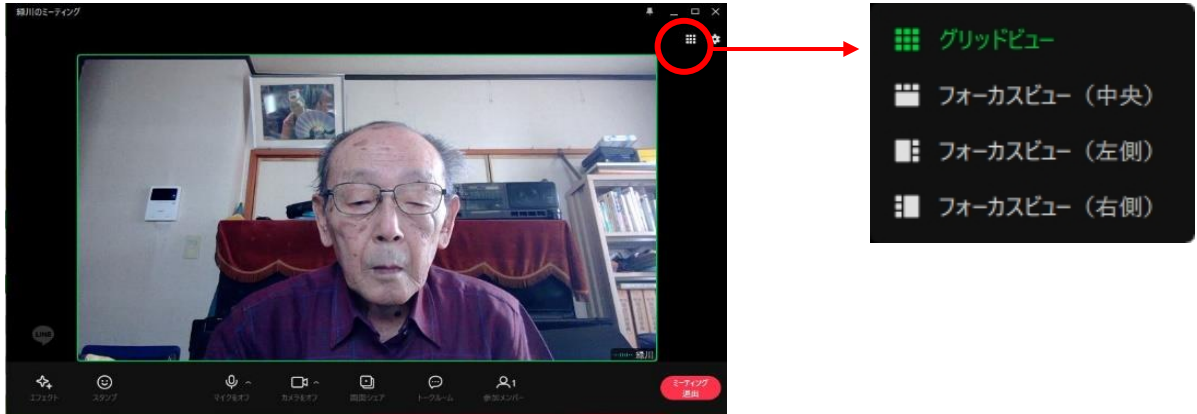
下から 2 番目をクリック (起動) すると右の **D** が出るので緑色の「開始」をクリックすると下図の準備画面が出て右の設定が可能。



中央下部の「参加」で通信が始まる。

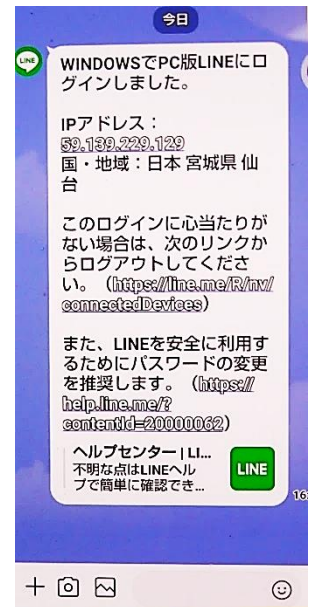


③ 通信開始画面



操作については ZOOM と似たようなものなので実際の通信で確認して頂きたい。

さきに PC 版 LINE とスマホの LINE がリンクしていると述べましたが、PC で LINE を起動するとスマホに Line から右図のような連絡が入ります。



④ LINE ミーティングの得失

詳しい説明は <https://guide.line.me/ja/> でご確認ください

(PC 版については右上の検索窓に「PC 版 Line」と入れて移動)

【 メリット 】

- ・ 何とんでも無料で最大 500 人 (PC で 1 画面表示 49 人) が可能
- ・ 初期設定が終われば操作は他のアプリと似ているので操作が簡単
- ・ スマホ利用者にはなじみが大きいため対応にストレスが少ない
- ・ スマホ LINE のような友だち登録は不要 (Web サイトの URL だけでミーティング可能)

【 デメリット 】

- ・ URL が漏れると他人の侵入を防げない (ホストが退去措置をすることは可能)
- ・ 通信の安定感是不透明 (実際の運用で確認が必要)
- ・ LINE アカウントは電話番号と同じくらいプライベートな情報です。
参加者同士で絶対につながらたくない場合は、Zoom や Skype など他のビデオ通話ツールを使ったほうが安心
- ・ スマホとのリンクは本人確認が厳重な点を安心と見るも煩雑さがある
- ・ スタンプや効果フィルターその他若者向けの装飾が多くシニアにはなじみが薄い
- ・ PC とスマホ両方でのログインは出来ない (PC2 台も不可)